

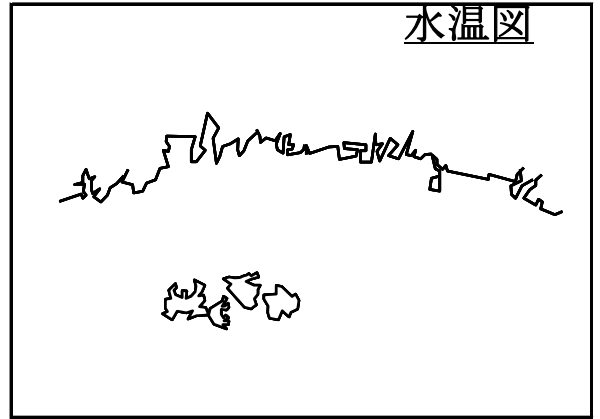
兵庫県のに漁場環境情報 (西播海域 12 号)

2023年 1月27日発行
 兵庫のに研究所

西播地先において、小型珪藻のキートセロス、レプトシリンダラス、大型珪藻のユーカンピアは確認されていますが、発生量は減少しています。沖合漁場では、珪藻の発生量は大きく減少しており、わずかに確認される程度でした。窒素は、西播地先で概ね $1 \mu\text{g-at/L}$ 前後、沖合漁場では $1 \mu\text{g-at/L}$ 以下の値となっています。

(珪藻、栄養塩ほか)

西播地先では、小型珪藻のキートセロス、レプトシリンダラス、大型珪藻のユーカンピアが確認されたが、発生量は前回 (1/16) 調査より減少していた。沖合漁場では、珪藻の発生量は大きく減少しており、ほぼ確認されない状況であった。各海域のユーカンピア発生量(海水 1mlあたり)は、西播地先で0~150細胞(前回値: 10~200細胞)、沖合漁場で0~3細胞(前回値: 50~150細胞)であった。網干漁場では、陸水等の影響により、アンモニア態窒素の値がやや高くなっていた。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	3.9	1.1	1.9	0.2
	リン	0.35	0.35	0.45	0.26
家島・坊勢	窒素	0.6	0.6	2.5	1.5
	リン	0.43	0.45	0.45	0.50

(1/16) (1/26)

栄養塩 (窒素) 図

2023年 1月27日調査

